

中・高生アートチャレンジ！発表公演 終了しました

7月28日(金)に中・高生アートチャレンジ！後期発表公演を行いました。5日間という濃密な体験すべてを詰め込んだ、中・高生の皆さんの若さあふれる一期一会の舞台が誕生しました。

ご観覧いただきました皆様、プロジェクトにご協力いただきました皆様、本当にありがとうございます！講師の田上豊さんが当日パンフレットに寄せてくださったメッセージの一部をご紹介します。

【講師より】

ここに集う中高生は五日間をかけて、それぞれが持ち寄った「人生の中で思い出深かった出来事」というエピソードを基に、作品を作りました。11人いるので、11本の短編となり、なかなか色とりどりの、今の中高生らしい作品群となったと思います。

そして、これらの全てを中高生が自分たちの力で作り上げたことが誇らしいと思います。

普段、全国のいろんな高校生と作品を作ったりしていますが、今回の豊岡滞在で、素直に「うわぁ、豊岡の中高生ってすげーな！」と思える11人と出会えたことが何よりもの財産です。

前期 演劇入門WS

講師：平田オリザさん



後期
演劇集中WSと発表公演
講師：田上豊さん



高校生演劇交流事業 長野県上田市にて 開催しました

7月29日～8月1日にかけて、公募で集まった但馬の高校生達9名が、姉妹都市・長野県上田市の高校演劇部の皆様と上田市交流文化芸術センター「サントミュージゼ」にて、演劇交流を行いました。

講師に、南河内万歳一座座長・内藤裕敬氏と、田上パル主宰・田上豊氏を迎え、初日は上田の高校生15名と、交流ワークショップを行いました。

簡単な名前を使ったゲームから、3人ずつに分かれ短い台本を使い創作するなどを行いました。初日から上田の高校生達と話し合い、しっかりとコミュニケーションをとることができていました。

2日目からは発表公演に向けて、内藤チーム・田上チームに分かれ、それぞれの演劇作品を創作していき、31日に発表公演を行いました。

田上チームは、上田に伝わる昔話を、高校生達が意見を出し合い、おもしろおかしくお話を創り上げました。

内藤チームは、冷蔵庫の中に入らざるというト書きから、台本を一人ずつ書き、それを基に内藤さんが1つの台本にまとめ、発表しました。

発表公演は、客席も満員となり大成功に終わりました。

最終日には、上田市の教育長を表敬訪問しお話しも聞かせていただき、上田市と豊岡市の姉妹都市の理由のひとつでもある、名物のそばも食べることができました。

高校生達は、7月17日から始まった中高生アートチャレンジから、この交流事業の中で大変大きく成長することができました。参加していただいた高校生の皆様、上田市の皆様、本当にありがとうございました。



上田市の高校生との
交流ワークショップの様子

発表公演の様子



「祈り-1945」 平和を願う朗読劇・豊岡 2017 終了しました

8月5日(土)に『祈り-1945』 平和を願う朗読劇・豊岡 2017 本公演を上演しました。

今年も新たな参加者も加わり、10代から70代の20名で朗読しました。二度と悲惨な戦争をおこさぬよう、キャスト・スタッフ一同平和への願いを込めて取り組みました。

アンケートにも、「戦争の悲惨さ、平和への有難さを考え直すひと時でした」「感動しました」「若い世代に伝えてほしいです」など、たくさんのお声をいただきました。

あの日、あの時おこった出来事を、これからはしっかりと伝えていきたいと思えます。

ご来場いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



アーツクール2017

宮沢賢治『いちじょうの実』を読む

日時：9月24日(日) 15:00

場所：豊岡市民プラザ ほっとステージ

入場料：無料(要整理券)

舞台芸術の各方面の第一線で活躍されているプロの方々を講師陣「ドラマリーディング講座」「音響講座」「照明講座」の受講生による成果発表会。



出演/スタッフ
アーツクール2017
講座受講生